

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	育英メディカル専門学校
設置者名	学校法人群馬英数学館

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	鍼灸学科 Ⅰ部（午前部）	夜・通信	21 単位	9 単位	
	鍼灸学科 Ⅱ部（午後部）	夜・通信	21 単位	9 単位	
医療専門課程	柔道整復学科 Ⅰ部（午前部）	夜・通信	21 単位	9 単位	
	柔道整復学科 Ⅱ部（午後部）	夜・通信	21 単位	9 単位	
（備考）					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ トップ画面→情報公開 「実務経験のある教員等による授業科目」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	育英メディカル専門学校
設置者名	学校法人群馬英数学館

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ トップ画面→情報公開 「理事（役員）名簿」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社経営者	2023.6.1～ 2025.5.31	法人運営体制への チェック機能
非常勤	鍼灸院経営者	2023.6.1～ 2025.5.31	法人運営体制への チェック機能
非常勤	私立高等学校 学監	2023.6.1～ 2025.5.31	法人運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	育英メディカル専門学校
設置者名	学校法人群馬英数学館

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 鍼灸学科 I 部 午前部 9:00～12:10 (3年制) 鍼灸学科 II 部 午後部 13:00～16:10 (3年制) 柔道整復学科 I 部 午前部 9:00～12:10 (3年制) 柔道整復学科 II 部 午後部 13:00～16:10 (3年制) 【授業計画書(シラバス)の作成について】 学年ごとに、科目名、分野区分、担当教員名、講義回数、履修学年・期間、講義内容、評価方法等を学内統一様式で作成している。 【作成時期について】 翌年度の授業計画書(シラバス)は、3月に担当教員が作成し、4月上旬のオリエンテーションで学生に配付するとともに、ホームページ上に公開する。	
授業計画書の公表方法	ホームページ トップ画面→情報公開 「授業計画書」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則及び学生便覧において、評価・単位認定・進級・卒業について規定している。試験の得点・出席状況・履修態度・課題取り組み状況などを総合的に評価している。

(参考)

学則第 10 条 単位の認定

授業科目の単位の認定は、試験、平素の成績、その他の方法により行うものとし、その方法については、各授業科目の担当者がこれを定め、校長がこれを認める。

学生便覧 10. 評価、単位認定

期末試験、実力試験、実力判定試験、出席状況、履修態度等を審議して、年度末に総合評価する。

総合評価と判定は以下のとおりとなる。合格の場合履修科目の単位を認定されたこととなる。

判定	合格				不合格
総合評価	S (100～90)	A (89～80)	B (79～70)	C (69～60)	D (59～0)

3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(客観的な指標の設定)

全科目の合計点の平均を算出し、成績の分布を客観的に判断できるようにする。

90 点以上、80 点以上、70 点以上、60 点以上、50 点以上、50 点未満の 6 段階の指標を設定する。

(成績評価の取り組み概要)

指標を基に、学生の学習指導及び成績優秀者表彰選出などに活用する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ トップ画面→情報公開 「成績評価」
(<https://gunei.ac.jp/disclosure/>)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

(卒業の認定方針の策定)

期末試験および実力試験による各科目の評価点、実力判定試験の成績、認定実技審査の成績、出席状況、課題等の提出状況、特別試験、賞罰・履修態度等を審議して卒業判定会議にて決定する。

(卒業の認定基準)

学則第 11 条 進級・卒業の認定

本校の課程修了の認定及び卒業は、次のとおりとする。

(1) 進級又は卒業の認定は、各学年において、「別表 1」の単位を取得するものとする。

(2) 各単位の成績の評価は、「別表 2」に定める。

(3) (1) 及び (2) の認定の結果、原学年に留められた者は、当該学年に係る所定の授業科目を再履修するものとする。しかし、個々の科目の成績から校長が単位認定した科目については再履修を免除できる。

2 授業時間の 4 分の 3 以上出席することを当該科目の単位認定必須条件とする。ただし、校長が特にやむを得ないと認める理由により欠席したときは、この限りでない。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページ トップ画面→情報公開 「成績評価」
(<https://gunei.ac.jp/disclosure/>)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	育英メディカル専門学校
設置者名	学校法人群馬英数学館

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ トップ画面→情報公開「財務諸表等」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)
収支計算書又は損益計算書	ホームページ トップ画面→情報公開「財務諸表等」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)
財産目録	ホームページ トップ画面→情報公開「財務諸表等」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)
事業報告書	ホームページ トップ画面→情報公開「財務諸表等」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)
監事による監査報告（書）	ホームページ トップ画面→情報公開「財務諸表等」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科 I 部 (午前部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			100 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	6 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	15 単位時間/ 単位
3 年	昼	121 単位時間/単位	単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		61 人	0 人	8 人	4 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照
学修支援等

(概要) 定期試験前ゼミや国家試験対策ゼミ、また希望者には個別でゼミを適宜実施し、国家資格取得に向けた学習サポートを実施している。 本校オリジナルの国家試験対策アプリを活用し、習熟度の向上を図っている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 (100%)	0 人 (0%)	31 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院、鍼灸接骨院、介護施設、開業等			
(就職指導内容) 1. 2. 3 年生それぞれに就職ガイダンスを実施し、1. 2 年次は就職の意識とモチベーション維持を図る。3 年次では、直接治療院に参加してもらい就職説明会を実施し、職場見学実習や個別面談を随時実施する。			
(主な学修成果（資格・検定等）) はり師国家資格取得・きゅう師国家資格取得			
(備考) （任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	7 人	16.3%
(中途退学の主な理由) 成績不振、進路変更、病気、家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習の習熟度に合わせた個別指導や面談を実施し、早期に対策を講じる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科Ⅱ部 (午後部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	121 単位時間/単位	100 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	6 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	15 単位時間/ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		63人	0人	8人	4人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照			
成績評価の基準・方法			
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照			
学修支援等			
（概要） 定期試験前ゼミや国家試験対策ゼミ、また希望者には個別でゼミを適宜実施し、国家資格取得に向けた学習サポートを実施している。 本校オリジナルの国家試験対策アプリを活用し、習熟度の向上を図っている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31 人 (100%)	0 人 (0%)	31 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 鍼灸院、鍼灸接骨院、介護施設、開業等			
（就職指導内容） 1. 2. 3 年生それぞれに就職ガイダンスを実施し、1. 2 年次は就職の意識とモチベーション維持を図る。3 年次では、直接治療院に参加してもらい就職説明会を実施し、職場見学実習や個別面談を随時実施する。			

(主な学修成果(資格・検定等)) はり師国家資格取得・きゅう師国家資格取得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	4 人	8.2%
(中途退学の主な理由) 成績不振、進路変更、病気、家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習の習熟度に合わせた個別指導や面談を実施し、早期に対策を講じる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科 I 部 (午前部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	131 単位時間/単位	96 単位時間/ 単位	13 単位時間/ 単位	4 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	18 単位時間/ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		57 人	0 人	8 人	10 人	18 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照
学修支援等

(概要) 定期試験前ゼミや国家試験対策ゼミ、また希望者には個別でゼミを適宜実施し、国家資格取得に向けた学習サポートを実施している。 本校オリジナルの国家試験対策アプリを活用し、習熟度の向上を図っている			
卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	14 人 (60.9%)	9 人 (39.1%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 接骨院、整骨院、鍼灸接骨院、整形外科、介護施設、開業等			
(就職指導内容) 1. 2. 3 年生それぞれに就職ガイダンスを実施し、1. 2 年次は就職の意識とモチベーション維持を図る。3 年次では、直接治療院に参加してもらい就職説明会を実施し、職場見学実習や個別面談を随時実施する。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 柔道整復師国家資格取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	6 人	14.3%
(中途退学の主な理由) 成績不振、進路変更、病気、家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習の習熟度に合わせた個別指導や面談を実施し、早期に対策を講じる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科 II 部 (午後部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	131 単位時間／単位	96 単位時間/ 単位	13 単位時間/ 単位	4 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	18 単位時間/ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	

90 人	53 人	0 人	8 人	10 人	18 人
------	------	-----	-----	------	------

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1 を参照			
成績評価の基準・方法			
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3 を参照			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 様式 2 号の 3 【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4 を参照			
学修支援等			
（概要） 定期試験前ゼミや国家試験対策ゼミ、また希望者には個別でゼミを適宜実施し、国家資格取得に向けた学習サポートを実施している。 本校オリジナルの国家試験対策アプリを活用し、習熟度の向上を図っている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	14 人 (60.9%)	9 人 (39.1%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 接骨院、整骨院、鍼灸接骨院、整形外科、介護施設、開業等			
（就職指導内容） 1. 2. 3 年生それぞれに就職ガイダンスを実施し、1. 2 年次は就職の意識とモチベーション維持を図る。3 年次では、直接治療院に参加してもらい就職説明会を実施し、職場見学実習や個別面談を随時実施する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師国家資格取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	3 人	8.3%

(中途退学の主な理由) 成績不振、進路変更、病気、家庭の事情
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習の習熟度に合わせた個別指導や面談を実施し、早期に対策を講じる。

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
鍼灸学科 Ⅰ部	400,000 円	1,000,000 円	360,000 円	
鍼灸学科 Ⅱ部	400,000 円	1,000,000 円	360,000 円	
柔道整復学科 Ⅰ部	400,000 円	1,000,000 円	360,000 円	
柔道整復学科 Ⅱ部	400,000 円	1,000,000 円	360,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ トップ画面→情報公開 「自己評価」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価委員会は、卒業生・高等学校関係者・業界関係者・保護者等により構成される。 自己評価 (①教育理念・目標②学校運営③教育活動④学修成果⑤学生支援⑥教育環境⑦学生の受入れ募集⑧財務⑨法令等の遵守⑩社会貢献・地域貢献) の結果を基に助言を頂き、次年度の改善に活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
接骨院 管理柔道整復師	2024. 6. 1～2026. 3. 31	業界関係者
元高等学校教員	2024. 6. 1～2026. 3. 31	高等学校関係者
卒業生	2024. 6. 1～2026. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ トップ画面→情報公開 「学校関係者評価」 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ トップ画面→情報公開 (https://gunei.ac.jp/disclosure/)
--